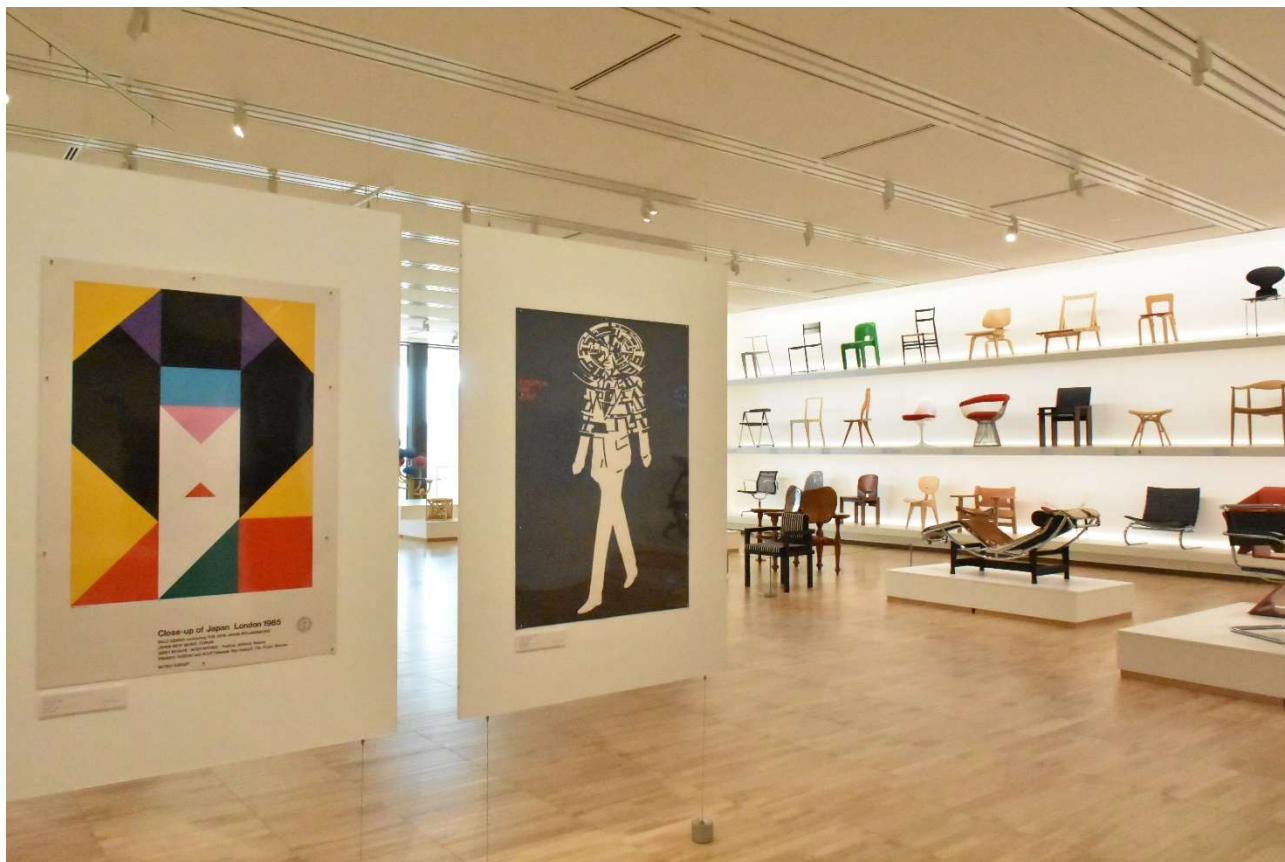


デザイン・コレクション展 III の開催について



富山県美術館では、「デザイン・コレクション展 III」を下記のとおり開催しておりますので、ご案内いたします。

1.概要

日時： 令和2年9月17日（木）～令和2年12月15日（火）

場所： 富山県美術館 3階展示室5・6

展示： 展示室5／デザインコレクション

特集「世界ポスタートリエンナーレトヤマ 第1回-3回審査員出品作」

展示室6／瀧口修造コレクション「瀧口修造 夢の漂流物」

展示室6／シモン・ゴールドベルク&山根美代子コレクション「ゴールドベルクの過ごした部屋」

お問い合わせ 富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20

tel：076-431-2711 fax：076-431-2712

メール：abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

担当：広報に関して：川浦（広報）

展覧会に関して：望月（学芸課）、麻生、碓井（普及課）

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA, WITH US



2. 展示内容と見どころ

▼展示室5 / デザインコレクション

特集「世界ポスタートリエンナーレトヤマ 第1回-3回審査員出品作」

来年13回目が開催予定の世界ポスタートリエンナーレトヤマ（以下 IPT）は、1985年に始まり、3年毎に開催されています。今回は、第1回から3回目までの審査員出品作（第1回は招待出品）を展示します。

☆みどころ

これまで当館のポスターを手掛けていただいた永井一正氏や当館と関わりが深い松永真氏、勝井三雄氏など国内外20名以上のグラフィックデザイナーのポスターを展示します。IPTの歴史、時代を映すポスターの世界をご覧ください。

▼展示室6 / 瀧口修造コレクション

「瀧口修造 夢の漂流物」

瀧口は、シュルレアリスム（超現実主義）の日本における論理的支柱となった人物として知られています。また詩人、美術評論家、自ら制作を手掛けた作家でもありました。「瀧口修造 夢の漂流物」と題し、国内外の作家たちの作品や無名のオブジェなどをご紹介します。

☆みどころ

瀧口修造の書斎には、ジョアン・ミロ、マルセル・デュシャン、ジャスパー・ジョーンズなど交流のあったアーティストから贈られた作品やオブジェ、自身が見つけたお気に入りのものなど、入手経路も内容もさまざまな品々が集まりました。これらのコレクションのダイジェスト版をお楽しみください。



お問い合わせ 富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20
tel: 076-431-2711 fax: 076-431-2712
メール: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当: 広報に関して: 川浦（広報）
展示会に関して: 望月（学芸課）、麻生、碓井（普及課）

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA, WITH US



▼展示室6／シモン・ゴールドベルク&山根美代子コレクション

シモン・ゴールドベルク（1909－1993）
が愛蔵し、美代子夫人から2006年に寄贈
された美術作品をご紹介します。

☆みどころ

イタリアの彫刻家マリノ・マリーニの彫刻
や、ベルギーの画家コンスタン・ペルメー
ケの絵画など、ゴールドベルクが自宅の部
屋に実際に飾っていた様子が記録されて
いる作品を中心にご覧いただけます。



3. 観覧料

- ・コレクション展 一般300円（240円）※（ ）内は20名以上の団体料金
- ・次の方は、コレクション展の観覧無料
 - ① 小・中・高校生と大学生、70歳以上の方
 - ② 学校教育、社会教育活動としての児童・生徒の引率者（観覧料免除申請書が必要です）
 - ③ 各種手帳をお持ちの障がい者の方（付き添いは手帳をお持ちの方1人につき1名まで無料）

※詳しくは、当館ホームページをご覧ください（<https://tad-toyama.jp/>）。

コレクション展について

富山県美術館のコレクション展では、富山県立近代美術館から現在までの収蔵作品を展示しています。年4回程度、さまざまなテーマによる展示替えを行い、多彩なコレクションを紹介。当館2階の展示室1では絵画・彫刻を中心とし、3階展示室5・6ではポスターや椅子、富山県ゆかりの瀧口修造やシモン・ゴールドベルクのコレクションを展示しています。

お問い合わせ 富山県美術館 〒930-0806 富山県富山市木場町3-20
tel：076-431-2711 fax：076-431-2712
メール：abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当：広報に関して：川浦（広報）
展示会に関して：望月（学芸課）、麻生、碓井（普及課）

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA, WITH US

